

[報告] 10.14 緊急集会 関電の原発マネー徹底究明と原子力からの撤退を求める！

ゲスト：東山幸弘さん（ふるさとを守る高浜・おおいの会）

「私は怒っている！」各地・各団体・参加者から、関電への怒りが結集

▶原発マネー徹底究明 ▶高浜4号の12月中旬起動阻止 ▶老朽原発の再稼働を許さない！



「避難計画を案ずる関西連絡会」は、10月14日に大阪市内で、関電の原発マネー徹底究明と原子力からの撤退を求める緊急集会を行った。集会には約90名が集まり、ゲストのお話、報告、そして各地・各団体、参加者から「私は怒っている！」のリレートークが続いた。関電への怒りが結集し、原発を止めていこう！と、集中した熱気ある集会だった。

* 大手ゼネコンに巨額マネーが回る仕組みが一番の問題

はじめに、関電マネー問題で揺れる現地高浜町から、ゲストの東山さんのお話を聞いた。以下に紹介する。森山元助役は、高浜原発1・2号の建設が始まった頃、当時の浜田町長が1969年に役場に迎え、助役に昇進し87年に退任するまでに人脈を作り、退職後も大きな力を持つようになった。関電の下請けの仕事は、森山氏に頼まないともらえないようになっていた。また、町民の原発に対する疑問や反対を抑える役割も果たしていた。森山元助役は、新聞に出ていたが部落解放同盟の高浜支部の書記長をしており、疑問等を口にするると7～8人で押しかけて黙らせたという話を聞いたことがある。

今年6月8日、関電社内からの告発文的な文書が福井の市民団体にも届いた。その内容は、40年以上前から、原発の立地や定検、安全対策工事の金の一部である数億円が関電幹部に渡っている等だった。しばらく様子を見ることにしたが、9月27日の報道が告発の内容を裏付けた。

森山元助役が顧問となっていた吉田開発だけが取り上げられているが、地元の企業は、2次、3次の下請けで、元受けのゼネコンやプラント会社の問題が全く報道されないのは大きな問題だ。高浜1・2号は前田建設、安藤ハザマ、3・4号は竹中工務店、大林組、特重施設（テロ対策等施設）は竹中工務店等が請け負っていると、ゼネコンの名をあげて紹介した。工事中の高浜原発構内から出てくるダンプの写真を映し、特重施設の工事に5000億円注ぎ込んでいると関電は言うが、関係者は「水増ししているのではないか」と言っている。大手ゼネコンにいくらでも金が回る仕組みになっていて、原発がやめられないのが問題だ、と強調した。

質疑では、参加者からゲストの発言に異議が出た。一部マスコミやネットでも流れている、森山元助役への恐れが部落解放同盟と関係しているかのような内容は事実無根である。差別意識に乗っかり、「根源は原発マネーである」をすりかえ、部落差別を拡大再生産しようとする意図がある。森山氏が書記長だったのは1970年～72年の間だけで、書記長を解任され、解放同盟を離れた後に助役へと上り詰め、大きな影響力を持つに至った。部落解放同盟中央本部が出しているコメント^{※1}をしっかりと見てほしいとの意見が出され、参加者から大きな拍手があった。主催者も同じ思いである。

※1「福井県高浜町元助役から関西電力幹部への金品受領問題に関する部落解放同盟中央本部のコメント」

<http://www.bll.gr.jp/info/news2019/news20191008.html>

（これによれば、福井県連は高浜支部の一支部だけで、80所帯、200人ほどである。）

また、高浜町の議員は今どう思っているのかとの質問に対して、東山さんは「今も原発については表だってものが言えない状況は変わらない」と答えた。

* 関電の責任を迫り、「原発マネー還流」徹底究明、高浜4号の12月中旬起動阻止を

次に主催者から、「主語は関西電力です」と冒頭に述べ、今回の事件と当面の活動について報告した。今回の事件は、原発マネーの還流であり、関電の原発強行推進がもたらしたものだ。10月2日の緊急署名開始以降、関電は八木会長ら役員7名が辞任し、「第三者委員会」を設置して事態の沈静化を狙っている。しかし、関電が作った「第三者委員会」では徹底究明はできない。政府が責任をもって徹底究明すべき。このような事態になっても、原発の運転・工事・審査を淡々と続け、高浜4号は12月中旬にも原子炉を起動しようとしている。緊急署名を関電と原子力規制委員会・経産省へ提出し、原子力からの撤退を求めていこう。関西の自治体や議員、野党の国会議員に働きかけていこう、福井と関西、全国の運動と連携していこうと呼びかけた。

署名は3,810筆に達したとの報告があり(16日の最終集約では4,795筆)、ネット署名には1,300以上コメントが寄せられ、そのいくつかが紹介された(囲み参照)。

高浜原発、大飯原発、美浜原発に包囲された中で暮らす私たち住民は、原発マネーに汚染されています。今回の金品授受で言われている還流だけでなく、関電から寄付金として匿名で立地自治体に億円単位のお金が出ています。また、地元の祭りやイベント、文化行事などにも協賛し、お金をばらまいています。そのようにして原発や関電に対する疑問や批判の声を封じてきました。

その結果、表では原発のことを言えないいびつな故郷にされてしまいました。言葉を換えれば、人の尊厳を奪われたのです。関電、規制委員会、経済産業省は私たちの故郷を変えた同じ穴のムジナです。今回のことをきっかけにその根本的問題にメスを入れ人の尊厳を取り戻す行動に即取り組んでください。(福井)

コープ自然派組合員有志からは、和歌山県白浜町で、核施設の立地を拒否する条例制定を目指す住民団体の町長への申し入れに参加した報告があった。「記者会見の関電トップの態度を見て怒りを感じた」「この集会で何が出来るかを持って帰りたい」と発言。関電は、「署名は郵送するように」と傲慢な態度をとっていることが紹介され、17日に関電本店で提出しよう、18日には規制委・経産省へ提出することが提起された。



* 各地・各団体・参加者から怒りのリレートーク

そして、各地・各団体・参加者から、それぞれの立場から怒りのリレートークへと続いた。

▶脱原発へ！関電株主行動の会：「ポッポないない」した1億円は、サラリーマンの一生の賃金



に匹敵する。株主として断じて許せない ▶福島からの避難者：事故を起こした東電でも被災者に謝りもしない。関電の態度にめげず、団結力ではね返そう ▶脱原発わかやま：日高、日置川で反対派つぶしの、関電の汚い手口を見てきた。動いている原発を止めるのはより大変。力を合わせていこう ▶名古屋の老朽原発40年廃炉訴訟市民の会：福島原発事故を起こした国で、危険な老朽原発を動かすのは言語道断。裁判費用

250 万円のクラウドファンディングに、ご協力を！ ▶**おおい原発止めよう裁判の会**：2004 年美浜 3 号の 11 名死傷事故で地元の下請け作業員が多数犠牲になった。それを契機に原子力本部を福井に移し、地元対策を強め、癒着体制に繋がったのではないかと ▶**アイリーンさん**：海外では、関電の監査がちゃんとやられていないことに驚いている。京都府知事、京都市長が、関電を批判しているが、口だけでなく何をするのか、監視していく ▶**子どもたちに未来をわたしたい大阪の会**：関電記者会見を見た怒りで署名が集まったが、1 週間ほどで削がれてきた。頑張らねば ▶**学生**



の参加者 2 名：後ろに巨大な資本の力があるのが見えてくる。団結して闘うことが重要。沖縄と同じような問題を感じる。あきらめてはいけない ▶**脱原発はりまアクション**：「ワイロよりハイロ！」と訴え、街頭や集会で 337 筆もの署名を集めた。関電役員は辞任ではなくクビにすべきだ ▶**原発を考えるびわ湖の会**：13 日守山市での安定ヨウ素剤配ってよ！集会で、全県民に事前配布しようと 24 団体でスタートした ▶**原発さよなら四国ネットワーク**：非暴力直接行動の世界的行動

が 2 週間 60 都市で展開中。連帯していきたい ▶**原発なしで暮らしたい宮津の会**（メッセージ）：激甚災害の被災地だらけの中で、性懲りもなく原発を動かそうとする関電・電力会社は許せない。▶**東山さん**：金品受領した関電役員に対し、1,000 人を超える規模で告発したいとの声が福井から出ている。協力をよろしく。

そして、集会決議を読み上げ、拍手で採択した。最後に司会の音頭で、今後一層活動を強めていこうと、全員で拍手して集会を終了した。

2019.10.24 避難計画を案ずる関西連絡会

スローガンの紹介

「関電の原発マネー還流事件を徹底究明し、原子力からの撤退を求める集会決議」より

関電に危険な原発をこれ以上運転させてはならない。

- ・ 関電の「原発マネー還流」を徹底究明し、金品を受領した 20 名は辞任せよ！
- ・ 高浜 4 号の 12 月中旬原子炉起動阻止！ 運転中の高浜 3 号・大飯 3・4 号の運転停止！
- ・ 高浜 1・2 号、美浜 3 号の老朽原発延命工事を中止し廃炉へ！
- ・ 原発推進のための使用済燃料「中間貯蔵施設」、サイト内乾式貯蔵施設の建設を断念せよ！

関電は原子力から撤退を！

